

THE RECORD

新年のご挨拶

社団法人 日本レコード協会 会長 石坂敬一

CD25周年記念行事開催

レコード演奏権 欧州4カ国調査を実施

社団法人 日本レコード協会



STOP!
ILLEGAL COPY

～違法コピー撲滅～

考えてみよう。未来の音楽のこと。
このまま違法コピーが続けば、近い将来の音楽の創造サイクルは破壊されます。



Contents

新年のご挨拶.....	2
CD25周年記念行事開催.....	3
レコード演奏権 欧州4カ国調査を実施.....	5
RIAJインタビュー 新たな段階に入った中国での日本音楽ビジネス.....	7
INFORMATION SQUARE.....	8
Monthly Production Report.....	9
Gold Album+...認定.....	10

新年のご挨拶



積極的に行動し、レコード産業の存在感を示す年に

社団法人日本レコード協会
会長 石坂敬一

新年あけましておめでとうございます。皆さまにおかれましては、健やかに新年を迎えられたことと心よりお慶び申し上げます。

さて、昨年は当協会の創立65周年、またデジタル音楽の出発点となったCD発売25周年の節目の年となりました。世界の音楽市場をみますと、主要国の売り上げが軒並み2桁以上の前年割れとなるなか、再販制度のもとで健全な流通市場が形成されている我が国はパッケージの落ち込みが少なく、他方音楽配信の大きな伸長により、トータルでは前年並実績を確保できたのではないかとみています。

また当協会は、外部関係諸機関との連携強化を積極的に推進して参りました。文化事業のひとつとして、SPレコードの音源のアーカイブ構築を目指した協議会を関係団体と連携して設立し、文化庁、国立国会図書館の支援を得て、調査研究に着手しました。

JAPAN国際コンテンツフェスティバルの公式イベントに選ばれた第4回東京アジア・ミュージックマーケットでは、経済産業省の支援を得て、日本音楽の海外進出に向け新たな足掛かりを得る事ができました。同時期に東京でIFPIアジア太平洋地域理事会も開催され、堅実な発展を遂げる日本の音楽産業が改めて世界に認識された年でもありました。

レコード産業は依然として大きな変革期にありますが、レコード産業の振興に取り組む上で阻害要因となる音楽の違法利用、特に急増するモバイル向け違法音楽配信への対策を緊急の課題として、今年は年初より関係省庁や関係団体、関連産業のご支援を得て、法的・技術的対策、広報対応などに取り組んでまいります。

また、レコード産業を代表する団体として、専門性に秀でた人材の育成と組織のシンクタンクの機能を強化し、さまざまな難問解決のために積極的に行動し、レコード産業の発展に貢献してまいります所存です。

本年も、皆さまにとって、幸多い年となることを祈念申し上げますとともに、一層のご指導、ご支援を宜しくお願い申し上げます。

CD25周年記念行事開催

12月6日、東京都港区の虎ノ門パストラルにおいて、(社)日本オーディオ協会、CDs21ソリューションズおよび当協会主催によるCD25周年記念行事が開催されました。

毎年12月6日の「音の日」に併わせ、日本プロ音楽録音賞授賞式と「音の匠」顕彰式が開催されていますが、音楽CDが登場してから25周年となる今年はCD25周年記念の催しも同時に開催しました。以下、内容をダイジェストでお届けします。

CD25周年記念シンポジウム

CD25周年記念シンポジウムでは、主催者挨拶として(社)日本オーディオ協会鹿井信雄会長が、CDの生みの親である中島平太郎氏の功績、努力を称えるとともに、CDが25周年を迎えたことを賞賛し、また(社)日本レコード協会石坂敬一会長は「CDの登場で、レコード産業は著しい発展を遂げてきました。今後は音楽配信との融合も含めて、音楽業界を発展させることが、我々に与えられた使命であります」と述べました。

記念講演では、CDs21ソリューションズ会長中島平太郎氏が、CD25年間の歩みを熱く語り、最後に「光ディスクで25年やってきたのだから、これからの25年も光ディスクで音楽を楽しみたい」と締めくくりました。

その後、第1部パネルディスカッションでは「音づくりの立場からCD25周年を語る」と題し、モデレータに行方洋一氏(Sound Creator & Sound Supervisor)を、パネラー



に岡崎好雄氏((株)EMIミュージック・ジャパン)、小鐵徹氏(ビクタークリエイティブメディア(株))、原田光晴氏(ビクタークリエイティブメディア(株))、保坂弘幸氏(H² mastering)を迎え、マスタリング技術者の立場からのCD25周年と思い入れの1作品について、作品作りの苦労やこだわりを述べていただきました。

第2部パネルディスカッションでは「デジタル音楽25年、そしてこれから」と題し、モデレータに麻倉怜士氏(デジタルメディア評論家)を、パネラーに穴澤健明氏((株)DRMソリューションズ代表取締役社長)、井橋孝夫氏(CDs21ソリューションズ幹事会議長、ビフレステック(株)代表取締役社長)、永嶋孝彦氏(関東学院大学非常勤講師、テラクル



ルー(株)特別顧問)を迎え、産業社会の観点からこれからのデジタル音楽を語っていただき、産業社会を革命的に変えたCDは、記録メディアとしてこれからも発展し続けると結んでいただきました。

第12回「音の匠」顕彰式

今年で第12回目となる「音の匠」顕彰式は、(社)日本オーディオ協会主催により、音を通じて文化や生活に貢献し、オーディオの発展に取り組んだ人を「音の匠」として顕彰するものです。

今回は、音聴技術を用いて漏水の発見に努め、水資源の有効活用の取り組みでは世界でもトップクラスの東京都水道局の方々の功績が称えられました。

第14回日本プロ音楽録音賞授賞式

第14回目となる日本プロ音楽録音賞授賞式は、(社)日本オーディオ協会、(社)日本音楽スタジオ協会、日本ミキサー協会、演奏家権利処理合同機構Music People's Nest、お

よび当協会主催により開催されました。

詳細は、次頁をご覧ください。

CD25周年記念「音の日」のつどいパーティ

CD25周年記念行事の締めくくりとして「音の日」のつどいパーティが行われました。

(社)日本オーディオ協会鹿井信雄会長による主催者挨拶に始まり、甘利明経済産業大臣からの祝電が披露され、その後、ソニー(株)相談役の大賀典雄氏からの挨拶、乾杯がありまし

た。パーティでは、「音の匠」「日本プロ音楽録音賞」受賞者が壇上に上がり、質疑応答や作品に対するコメント等がなされました。CD25周年にふさわしい華やかで活気のある会となりました。

第14回日本プロ音楽録音賞 授賞式開催

12月6日、東京都港区の虎ノ門パストラルにおいて、(社)日本オーディオ協会、(社)日本音楽スタジオ協会、日本ミキサー協会、演奏家権利処理合同機構Music People's Nest、および当協会主催による第14回日本プロ音楽録音賞授賞式を開催しました。

この賞は、音楽とオーディオ文化の向上に努める録音エンジニアの感性と技術にスポットライトを当て、音楽制作および録音に対する一般ユーザーの認識を高めるとともに、音楽とオーディオ産業のソフト分野における録音エンジニアの技術の向上、なら

びに地位の確立を目指すものです。

今年度は、応募作品部門の分類が3部門から5部門に細分化され、さらに「ベストフォーマー賞」も加わり、計6部門となりました。また、音楽専門誌5誌から賛助を受け、審査基準もフォーマット化するなどの変更点がありました。

当協会からは、田辺専務理事がプレゼンターとして参加し、「部門B CDパッケージメディア(ポップス、歌謡曲等)」の優秀作品、最優秀作品、スタジオ賞の表彰を行い、受賞者の功労を称えました。

最優秀賞受賞作品

部門A「CDパッケージメディア」

クラシック、ジャズ等



「ファイナル・オーケストラ・スペシャル・ライブ
オーボエ協奏曲集」(SICC-10045)より
「アルビノーニ:オーボエ協奏曲 変ロ長調
Op7-3 第1章:アレグロ」

宮本文昭、東京都交響楽団
発売元: Sony Music Japan International Inc.

- **メイン・エンジニア:** 鈴木浩二
(株)ソニー・ミュージックコミュニケーションズ
- **マスタリング・エンジニア:** 鈴木浩二
(株)ソニー・ミュージックコミュニケーションズ
- **アシスタント・エンジニア:** 波多腰英靖
(株)ソニー・ミュージックコミュニケーションズ

部門B「CDパッケージメディア」

ポップス、歌謡曲等



「風の詩を聴かせて」(VICL-36800)より
「風の詩を聴かせて」

桑田佳祐
発売元: ビクターエンタテインメント(株)

- **メイン・エンジニア:** 中山佳敬
ビクターエンタテインメント(株)
- **マスタリング・エンジニア:** 小島康太郎
FLAIR MASTERING WORKS
- **アシスタント・エンジニア:** 高須寛光
ビクターエンタテインメント(株)

部門C「ニューパッケージメディア」

DVD-Audio、DVD-Video、SACD(2chステレオ)



「Sara Smile」(PCCY-60003)より
「Fragile」SACD(2chステレオ)

市原ひかり
発売元: (株)ポニーキャニオン

- **メイン・エンジニア:** 川崎義博
(株)ポニーキャニオン
- **マスタリング・エンジニア:** 川崎義博
(株)ポニーキャニオン

部門D「ニューパッケージメディア」

DVD-Audio、DVD-Video、SACD(マルチchサラウンド)



「Rock Opera 2」(TOBF-5527・28)より
「Lookin' Back」DVD-Video
(マルチchサラウンド)

矢沢永吉
発売元: (株)EMIミュージック・ジャパン

- **メイン・エンジニア:** 篠筒 孝
(株)ソニー・ミュージックコミュニケーションズ
- **マスタリング・エンジニア:** 篠筒 孝
(株)ソニー・ミュージックコミュニケーションズ
- **アシスタント・エンジニア:** 宇納真也
(株)音

部門E「放送メディア」

放送作品

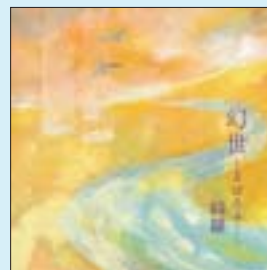


「ハイビジョン特集」より
「富田 勲 仏法僧に捧げるシンフォニー
～鳳来寺山63年目の再訪～」

富田 勲
NHK 衛星ハイビジョン BS-hi 5.1ch 2006年11月22日放送

- **メイン・エンジニア:** 深田 晃
NHK放送技術局コンテンツ技術センター 番組技術開発
- **セカンド・エンジニア:** 西村大介
NHK放送技術局報道技術センター 中継
- **セカンド・エンジニア:** 小野良太
NHK放送技術局コンテンツ技術センター 番組技術開発
- **セカンド・エンジニア:** 吉田英人
NHK放送技術局報道技術センター 中継

ベストフォーマー賞



「幻世～まぼろよ～」(WHSP-1025)より
「うららか」

綺羅(木戸やすひろ、広谷順子)
発売元: (株)PCカンパニー-Whisper Notes Music

レコード演奏権 欧州4カ国調査を実施

当協会法制委員会では、2005年度から日本における「レコード演奏権」の導入に関して、法制ワーキングチームでの検討を進めていますが、今秋、欧州4カ国(イギリス・フランス・ドイツ・オランダ)に調査団を派遣し、法制度および徴収・分配実務の調査を実施しました。以下、概要を報告します。

1. 「レコード演奏権」とは

市販CD等の商業用レコードが、家庭内等の限られた範囲内で再生して楽しめるという本来の目的を離れて使用される場合について、現行著作権法では、放送・有線放送に限り、レコード製作者の二次使用料請求権が認められていますが、店内演奏のように、公衆に聴かせるために商業用レコードが使用される場合については、権利が与えられておらず、使用者からレコード製作者への利益還元がなされていません。

実演家等保護条約第12条およびWIPO実演・レコード条約第15条は、商業用レコードが放送または公衆への伝達のために使用される場合について、レコード製作者の報酬請求権を規定

していますが、これらの条約は、上記規定の適用範囲等について、締約国による制限を認めており、わが国は、レコード製作者の報酬請求権の対象を放送および有線放送における商業用レコードの使用に限定しています。

しかし、公衆に聴かせるための商業用レコードの使用については、すでに世界124カ国(OECD加盟30カ国中、27カ国で導入済み)において、レコード製作者に報酬請求権、ないし許諾権が付与されており、わが国の状況は国際的にみて特異であるといえます。

【参考】レコード演奏権を有するOECD加盟国(50音順)

アイスランド、アイルランド、イギリス、イタリア、オーストラリア、オーストリア、オランダ、カナダ、ギリシア、スイス、スウェーデン、スペイン、スロバキア、チェコ、デンマーク、ドイツ、トルコ、ニュージーランド、ノルウェー、ハンガリー、フィンランド、フランス、ベルギー、ポーランド、ポルトガル、メキシコ、ルクセンブルク(計27カ国)(2007年10月現在、IFPI調査)

2. 欧州調査の概要

(1) 実施要綱

- 調査期間： 2007年10月28日(日)～11月7日(水)
- 調査団メンバー： 日本レコード協会法制委員会 法制ワーキングチーム
 座長：上山 淳(EMIミュージック・ジャパン 執行役員法務部長)
 委員：孫 龍活(ワーナーミュージック・ジャパン 法務部部長)
 事務局：荻部 好雄(日本レコード協会 法務部課長補佐)
- 訪問先： イギリス、フランス、ドイツ、オランダのレコード演奏権管理団体

(2) 各国の法制度

	■ イギリス ■	■ フランス ■	■ ドイツ ■	■ オランダ ■
レコード演奏権の 設立時期	1934年 (司法判断で確立)	1985年	1965年	1993年
権利者	レコード製作者 (実演家はレコード製作者に 対する分配請求権を保有)	実演家・レコード製作者	実演家 (レコード製作者は実演家に 対する分配請求権を保有)	実演家・レコード製作者
権利の性質	許諾権	報酬請求権	報酬請求権	報酬請求権

(3) 徴収・分配実務

■ イギリス ■ PPL (Public Performance Limited)



D.McGonigal政府関係部長とともに

総スタッフ191名のうち、79名の本部スタッフと4名の地方巡回スタッフがレコード演奏使用料の徴収業務に当たっています。

PPLは、1934年の設立以来、実演家・レコード製作者の放送・演奏使用料の管理を実施しているほか、近年ではオンライン系の権利管理業務も開始しています。

敷地面積等に応じた定額使用料を各店舗から直接徴収していますが、一部で業界団体経由の徴収や音源供給業者側での元栓処理も行っています。

徴収額については、実演家分とレコード製作者分等で等分した後、BGM供給業者からの使用レコード報告やクラブでのレコード使用に関するフィンガープリント調査結果等に基づき、各レコード製作者に分配しています。



PPL許諾済み店舗であることを示すステッカー

■ フランス ■ SPRE (Société pour la Perception de la Rémunération Equitable de la communication au public des phonogrammes du commerce)

SPREは実演家・レコード製作者の放送・演奏使用料を管理する団体として、1985年に設立されました。SPREでは、全国約2,500箇所のディスコから演奏使用料を直接徴収しているほか、バー・レストラン等の公衆向け施設については、音楽著作権管理団体SACEMに徴収業務を委託しています。

徴収額については、実演家分とレコード製作者分等で等分した

後、BGM供給業者・ラジオ局からの使用レコード報告と売上データを組み合わせる形で、各レコード製作者に分配しています。

このほか、電話保留音については、メジャー系レコード製作者団体のSCPP (Société Civile des Producteurs Phonographiques)が、複製使用料と演奏使用料の徴収・分配を行っています。

■ ドイツ ■ GVL (Gesellschaft zur Verwertung von Leistungsschutzrechten)

GVLは1959年に設立された団体で、実演家・レコード製作者の放送・演奏使用料やオンライン系の権利管理を行っています。そのうち、レコード演奏使用料については、音楽著作権管理団体GEMAに徴収業務を委託しています。

GVLの使用料規程は、GEMA使用料の20～26%相当であり、そこからGEMAに対する業務手数料を控除した額を実演家分

とレコード製作者分等で等分し、放送局からの使用レコード報告に基づき、レコード製作者に分配しています。



P.Zombik ゼネラルマネージャーとともに

■ オランダ ■ SENA (Stichting ter Exploitatie van Naburige Rechter)

SENAは、オランダ隣接権の施行に伴い1992年に設立された比較的新しい団体で、実演家・レコード製作者の放送・演奏使用料やオンライン系の権利管理を実施しています。

SENAでは、各使用者から従業員数・敷地面積ベースの使用料を個別に徴収していますが、請求書の発行については外部

に業務委託しているため、総スタッフ35名中、放送・演奏使用料担当は9名に収まっています。

徴収額については、実演家分とレコード製作者分等で等分した後、BGM供給業者・ラジオ局からの使用レコード報告に基づき、レコード製作者に分配しています。

3. レコード演奏権に関する欧州調査を終えて

日本レコード協会法制委員会 法制ワーキングチーム 座長 上山 淳

今回の訪問調査の最大の狙いは、レコード演奏権を持つ国々が、実際の運用面でどのような問題を抱え、それらをどのように解決し、制度を維持し続けているのか、実務に携わる方々にじかにインタビューしてその秘密をさぐることにありました。

欧州では、訪問した各団体の配慮により、多くの貴重な情報を得、さまざまな興味深い意見や体験談を聞くことができました。

日本は、ヨーロッパ主要国とともにローマ条約に加盟してこれらの権利保護を原則として宣言しています。レコード演奏権は、新しく権利を創設するというよりも、国際的調和を図るために、本来あるべき姿に戻すものです。ヨーロッパ諸国の実例を参考にしながら、レコード演奏権の早期導入に向けた検討を促進していく所存です。

新たな段階に入った中国での日本音楽ビジネス

当機関誌2007年12月号にて紹介しましたが、当協会は昨年11月に中国文化部職員を招聘しました。中国検閲制度の現場を預かる訪日メンバーとの友好的な交流が実現し、これからの日中音楽ビジネス促進への環境づくりが前進することと期待されます。

今回の招聘事業を全面的にサポートし、成功裡に導いてくださったのが、通訳として同行した朱根全(Zhu Gen Guan)氏。中国・北京市にある日本音楽情報センター(JAMIC)*の所長を務め、長年、中国における日本音楽のスポークスマンの役割を担ってこられた方です。日中音楽文化交流の場に欠かせないキーパーソンである朱氏に、中国で積み重ねてきた実績をベースに、これからの日中音楽ビジネス交流の方向性について、うかがいました。

※(財)音楽産業・文化振興財団(PROMIC)が、中国音像協会とともに設立した日中音楽交流の窓口機関。会員制で日本音楽CD等の無料視聴サービスを提供し、さまざまなイベント等で日本音楽のアピールに努めるとともに、著作権管理団体の交流促進や研究活動のサポートにあたる。

●日本音楽情報センター(Jamic)

TEL : +8610-6402-9733 FAX : +8610-6402-8911 E-mail : jamic@china.com



朱根全(zhu gen guan)氏

日本音楽情報センター(JAMIC)・センター長

1968年、中国江蘇省南通生まれ。北京第二外国語学院日本語学部を卒業後、1987年に中国文学芸術界連合会国際部アジア処に入職。1990年7月から一年間、日本音楽著作権協会(JASRAC)研修を受ける。1998年4月に日本音楽情報センター(JAMIC)設立準備委員となり、1999年5月の日本音楽情報センター(JAMIC)発足よりセンター長に就任、現在に至る。2007年3月からは中国音像協会理事も兼務。

■ JAMICの設立と使命

私は1999年に、新設された日本音楽情報センター(JAMIC)の所長になりました。それ以前に滞日中、「日本音楽の無料公開施設を作りたい」という(財)音楽産業・文化振興財団(PROMIC)のアイデアを聞き、JAMICの設立準備委員になったことがきっかけです。PROMICの当初構想であった上海オープンが頓挫したため、私は代案としてPROMICに、北京でやってはどうかと提案しました。当時から、北京は中国の政治・文化の中心地で、音楽に関しても感度の高いエリアでした。幸い話は円滑に進んで、在中国日本国大使館、日本の主要音楽団体の全面的な協力の下、

無事オープンできました。

JAMICの使命は、日本音楽、なかでもJ-POPの中国リスナーへの紹介と、音楽産業界の各団体相互の交流、著作権管理団体の協力体制のサポートなど、多岐にわたります。今後もできる限り文化部や版權局、中国音楽産業界等とのつながりも活かして、権利者の保護、海賊版対策、著作権啓発といった活動の推進をサポートし、日本の音楽が受け入れられる素地づくりに貢献したいと思っています。

■ 機能しはじめた中国の著作権マネジメント

ここ数年の中国のコンテンツ市場は、日本の音楽ビジネスにとっても、大変よい方向で環境整備が進んできたと思います。社会主義的な考え方から、中国ではなかなか著作権意識が育成されにくいのが悩みの種でしたが、制度的には改善されてきました。また政府レベルでも、著作権のマネジメントの推進に大いに力を入れています。その後押しもあり、国の機関や業界団体同士での、音楽を含むコンテンツ・ビジネスの協力体制、交流が急速に進展しました。日本レコード協会が、中国で日本音楽の権利認証機関として認可されたことも成果のひとつです。また、今回の中国文化部

の訪日もまた、その流れを加速する方向に働くでしょう。文化部の職員は、実際に検閲を行う当事者ですから、彼らが海外に出て、音楽ビジネスや著作権マネジメントの最新の動向を肌で感じれば感じるほど、現場レベルの手続きの簡素化、迅速化に反映され、日中で同一のライセンスを同時発売するための環境がより整備されていくと思います。

制度面の前進をベースに、次は具体的な作品やアーティストの交流、事務所同士の交流が必要になってきます。日中の音楽ビジネスの交流はそういう段階に入りました。

■ 日本音楽に関心を持つ中国のリスナーたち

日本音楽の紹介という観点から見ると、これまでの取り組みを通じて私が強く感じるのは、中国の日本音楽への潜在的な需要は非常に高いことです。今の実践活動のひとつに「音楽新幹線」というラジオ音楽番組があります。フレッシュな芸能情報の提供、聴衆からのリクエストによる曲の放送、日本の人気歌手およびグループの紹介のほか、日本の音楽・文化にまつわる多彩な情報を毎週2回、16局のネットワークでお届けしています。中国人のDJを据えた現地密着型で2006年から始めて2年目に入りました。1年目を迎えたとき、リスナーの意見を集めたのですが、寄せられた手紙のひとつひとつに、私は大変感銘を受けました。当時、継続できるかどうか厳しい状況で迷っていたのですが、リスナー

の皆さんのJ-POPから受けた強い衝撃と憧れが綴られる手紙を読み、自分のやっていることは間違っていないと勇気づけられ、何ともしも続けなければと決意を新たにしました。ライセンス盤のプロモーションとしても実効性が高い番組だと手ごたえを感じています。

現在は国際交流基金との共同事業でCM枠を取っていますが、今後の継続事業化するには民間のスポンサーの協力が不可欠と考えておりますので、ぜひ中国でのラジオ媒体をご利用いただきマーケティング手法としても活用いただければと強く思っております。

(談)

第6回RIAJセミナー開催



セミナーの様子

12月7日、東京都港区のコンフォートにおいて、当協会は第6回RIAJセミナーを開催しました。今回のセミナーでは、会員社の法務、契約の各担当者を対象に、「レコード演奏権欧州調査報告」、「RIAJの行う違法対策活動」、「モバイル違法実態調査報告」のテーマについての報告が行われました。

今回は、前回セミナーのアンケートで最も要望の多かったインターネット等における違法行為への対策について扱うということもあり、前回は上回る多数の受講者が来場し、違法対策の現状や違法モバイルの実態についての報告を熱心に聴講していました。また、「レコード演奏権欧州調査報告」では、日本でなじみの無い『レコード演奏権』という権利の説明から欧州4カ国の制度の現状について報告が行われ、受講者は新たな権利への興味を持つなど、今後のレコード業界の在り方を考える上でも意味のあるセミナーとなりました。

「STOP! ILLEGAL COPY ～違法コピー撲滅キャンペーン～」スタート

当協会では、2008年1月1日から3月31日まで、「違法コピー撲滅キャンペーン」を実施します。

このキャンペーンは、需要拡大施策の一環として「STOP! ILLEGAL COPY～違法コピー撲滅～」をキャッチコピーとし、違法コピーの防止を訴え、音楽創造のサイクルを守ることの大切さを一般ユーザーに訴求していくものです。このキャンペーンの柱として、当協会会員全社の店頭ポスターにキャッチコピーを掲載し、レコード店の協力のもと、全国店頭で一斉に掲出していきます。また、その他カウンターポップ等の制作物への展開も計画しています。

山口警察本部生活安全部・岩国警察署に感謝盾を贈呈

12月6日、当協会は山口県岩国警察署を訪問し、携帯電話向けのレンタル掲示板を利用した違法音楽配信事件の件で、山口県警察本部生活安全部および岩国警察署に感謝盾を贈呈し、感謝の意を表しました。

この事件は携帯電話向けに音楽ファイルを無料でダウンロードできるレンタル掲示板を開発・運営し、自らも権利者に無断で音源を送信可能化にしていたとして山口県在住の男性1名を含む4名が逮捕された事件で、主犯格の男性に対しては、懲役1年執行猶予3年の判決が下されたものです。

この日、当協会の高杉事務局長と米内法務部係長が訪問し、

高杉事務局長から岩国警察署の中山肇署長と山口県警察本部生活安全部生活安全企画課の竹内照勝課長補佐にそれぞれ感謝盾を贈呈し、本件が拡大する携帯電話向け違法音楽配信の抑止力となり、若年層に向けた著作権の啓発活動にも大きな効果を上げたことに対して謝辞を述べました。これを受け、中山署長からは、このようなインターネット上の違法行為の蔓延を防ぐため今後も取り締まりを強化していく方針が表明されました。



感謝盾贈呈の様子

「レコードファン感謝祭2007 ～廃盤CDディスカウントセール～」第2回開催

2008年1月25日(金)午後3時から2月8日(金)午後3時まで、「レコードファン感謝祭2007～廃盤CDディスカウント～」第2回目の販売を開催します。1月9日(水)より事前の商品閲覧とユーザー登録を実施しています。詳しくは下記URLをご参照下さい。http://fair.jmd.ne.jp/

当協会人事のお知らせ

役員人事

- 退任(12月31日付)
常務理事(兼広報部部長) 田中純一

事務局人事

- 異動(2008年1月1日付)
 - ・ 事務局次長兼業務部部長兼広報部部長
水村雅博(前:事務局次長兼業務部部長)
 - ・ 情報・技術部部長兼法務部担当部長
畑 陽一郎(前:法務部副部長)
 - ・ 情報・技術部部長(特命担当)
北村幸市(前:情報・技術部部長)
 - ・ 業務部課長 須貝あゆみ(前:業務部課長補佐)
 - ・ 法務部課長補佐 米内友伸(前:法務部係長)

● 2007年12月会議メモ

- 12・4 法制委員会
- 12・5 マーケティング委員会
- 12・7 情報・技術委員会
- 12・10 レコード倫理審査会
- 12・11 広報委員会
- 12・12 日本ゴールドディスク大賞委員会
- 12・14 執行委員会
- 12・19 アジア音楽市場拡大委員会
- 12・19 二次使用料委員会

Monthly Production Report

2007年11月度レコード生産実績

11月度の音楽ソフト(オーディオレコード・音楽ビデオの合計)生産実績は、数量で前年同月比84%の3,258万枚・巻、金額で80%の394億円となりました。

このうち、オーディオレコードは、数量で前年同月比78%の2,544万枚・巻、金額で77%の323億円となり、また、音楽ビデオは、数量で前年同月比119%の715万枚・巻、金額で103%の72億円となりました。

● オーディオレコード

(数量:千枚・巻/金額:百万円)

	11月実績						2007年1月～2007年11月累計							
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比		
シングル	8cmCD	邦	21	0	110%	10	0	98%	235	0	16%	122	0	37%
		洋	0	0	1%	0	0	1%	113	0	59%	21	0	47%
		計	21	0	57%	11	0	50%	348	0	21%	143	0	38%
シングル	12cmCD	邦	6,426	25	96%	4,826	15	92%	57,634	24	93%	43,905	15	92%
		洋	24	0	102%	17	0	95%	500	0	125%	352	0	124%
		計	6,450	25	96%	4,844	15	92%	58,134	24	93%	44,257	15	92%
シングル	小計	邦	6,447	25	97%	4,837	15	92%	57,868	24	91%	44,027	15	92%
		洋	24	0	59%	17	0	61%	613	0	104%	373	0	113%
		計	6,471	25	96%	4,854	15	92%	58,482	24	91%	44,400	15	92%
アルバム	12cmCD	邦	12,666	50	70%	19,701	61	75%	119,847	50	92%	173,067	59	95%
		洋	5,805	23	77%	7,155	22	72%	57,029	24	78%	69,851	24	83%
		計	18,470	73	72%	26,855	83	74%	176,876	73	87%	242,919	83	91%
CD	合計	邦	19,113	75	77%	24,537	76	78%	177,715	74	92%	217,094	74	94%
		洋	5,829	23	77%	7,172	22	72%	57,643	24	78%	70,224	24	84%
		計	24,941	98	77%	31,709	98	76%	235,358	98	88%	287,319	98	91%
アナログ	ディスク	邦	22	0	684%	30	0	543%	160	0	122%	235	0	143%
		洋	15	0	99%	31	0	455%	130	0	131%	276	0	177%
		計	37	0	202%	62	0	494%	290	0	126%	511	0	160%
カセット	テープ	邦	390	2	98%	364	1	98%	5,110	2	84%	4,143	1	81%
		洋	0	0	50%	0	0	97%	2	0	16%	1	0	13%
		計	390	2	98%	364	1	98%	5,112	2	84%	4,144	1	81%
その他	計	邦	37	0	111%	60	0	83%	318	0	143%	515	0	108%
		洋	33	0	442%	58	0	390%	240	0	220%	458	0	225%
		計	70	0	172%	119	0	135%	558	0	169%	973	0	143%
合計	計	邦	19,562	77	78%	24,992	77	78%	183,304	76	92%	221,987	76	94%
		洋	5,877	23	77%	7,262	23	73%	58,015	24	79%	70,959	24	84%
		計	25,439	100	78%	32,254	100	77%	241,319	100	88%	292,946	100	92%

● 音楽ビデオ

	11月実績						2007年1月～2007年11月累計						
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比	
DVD	邦	6,354	89	121%	5,751	80	100%	42,295	91	114%	43,827	87	106%
	洋	749	10	104%	1,390	19	126%	3,911	8	84%	6,176	12	86%
	計	7,103	99	119%	7,142	100	104%	46,206	99	110%	50,003	99	103%
テープ・LDその他	計	42	1	97%	27	0	30%	309	1	49%	389	1	40%
合計	邦	6,370	89	120%	5,772	81	99%	42,483	91	112%	44,180	88	105%
	洋	776	11	108%	1,396	19	126%	4,032	9	86%	6,212	12	86%
	計	7,146	100	119%	7,168	100	103%	46,514	100	110%	50,392	100	102%

● 音楽ソフト(オーディオ/音楽ビデオ合計)

	11月実績						2007年1月～2007年11月累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	25,439	78	78%	32,254	82	77%	241,319	84	88%	292,946	85	92%
音楽ビデオ	7,146	22	119%	7,168	18	103%	46,514	16	110%	50,392	15	102%
合計	32,584	100	84%	39,422	100	80%	287,833	100	91%	343,338	100	93%

● ビデオ(含音楽ビデオ)

	11月実績						2007年1月～2007年11月累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
DVD	12,105	99	116%	19,436	99	107%	86,522	99	96%	155,481	99	101%
テープ・LDその他	63	1	101%	101	1	71%	877	1	54%	1,100	1	38%
合計	12,168	100	116%	19,537	100	106%	87,399	100	95%	156,581	100	100%

● オーディオ/ビデオ合計

	11月実績						2007年1月～2007年11月累計					
	数量	構成比	前年同月比	金額	構成比	前年同月比	数量	構成比	前年同期比	金額	構成比	前年同期比
オーディオ	25,439	68	78%	32,254	62	77%	241,319	73	88%	292,946	65	92%
ビデオ	12,168	32	116%	19,537	38	106%	87,399	27	95%	156,581	35	100%
合計	37,607	100	87%	51,791	100	86%	328,718	100	90%	449,527	100	94%

備考 1. 上記実績は、会員会社「45社」の集計である。当会員社が受託した非会員社からの販売委託分を含む。
2. 単位未満四捨五入により、内訳と合計が一致しない場合がある。
※オーディオレコードのその他はSACD、DVDオーディオ、DVDミュージック、MDの合計。

音楽ソフト

邦楽

アルバム

●ダブル・プラチナ

VOCALIST 2	徳永英明	2006.08.30	UM
------------	------	------------	----

●プラチナ

自己ベスト2	小田和正	2007.11.28	BMG
φ	KinKi Kids	2007.11.14	JE
Pacific	NEWS	2007.11.07	JE
KISS	L'Arc~en~Ciel	2007.11.21	KS

●ゴールド

ダレカの地上絵	Aqua Timez	2007.11.21	ES
moment	Sothe Bossé	2007.10.03	UM
DJ KAORI'S J MIX	DJ KAORI	2007.10.24	UM
悲しみなんて何の役にも立たないと思っていた。	横原敬之	2007.11.07	AMI
FUNFAIR	RIP SLYME	2007.11.28	WJ

シングル

●プラチナ

Keep the faith	KAT-TUN	2007.11.21	JA
蒼く優しく	コブクロ	2007.11.07	WJ
Weeeek	NEWS	2007.11.07	JE
Ultra Music Power	Hey! Say! JUMP	2007.11.14	JA

●ゴールド

小さな掌	Aqua Timez	2007.10.31	ES
I Believe	EXILE	2007.11.21	AMI
Destination Nowhere	ERIKA	2007.11.28	SR
ポケット	大塚 愛	2007.11.07	AMI
人	GReeeeN	2007.11.14	UM
聖なる夜に/冬物語	ケツメイシ	2007.11.21	TF
LAST ANGEL feat. 東方神起	倅田来未	2007.11.07	AMI
KISSして	KOH+	2007.11.21	UM
吾亦紅	すぎもとまさこ	2007.02.21	TE
青春 (SEISYuN)	TOKIO	2007.11.28	UM
Hurry Xmas	L'Arc~en~Ciel	2007.11.14	KS

ビデオ

●ゴールド

TOUR 2007 cartoon KAT-TUN II You	KAT-TUN	2007.11.21	JA
Mr.Children "HOME" TOUR2007	MR.CHILDREN	2007.11.14	TF

洋楽

アルバム

●ゴールド

オーラ~美しい感動~	VARIOUS	2007.04.25	EMI
ワッツ・アップ?ーR&Bグレイテスト・ヒッツ2ー	V.A.	2007.09.12	UM
B'DAY Deluxe Edition	Beyonce	2007.04.04	SI
ブラックアウト	プリティー・スピアーズ	2007.11.14	BMG

※日付は発売日

認定基準一覧

音楽ソフト(邦・洋、アルバム・シングル・音楽ビデオ)、音楽配信(着うた(R)、着うたフル(R)、パソコンダウンロードシングル・アルバム)共通

名称	略号	基準
ゴールド	G	10万以上
プラチナ	P	25万以上
ダブル・プラチナ	PP	50万以上
トリプル・プラチナ	PPP	75万以上
ミリオン	M	100万以上
2ミリオン	2M	200万以上
3ミリオン	3M	300万以上
以降、100万毎に賞を設定		

基準単位：音楽ソフト・枚、配信・DL(ダウンロード)
※着うた(R)のみダブル・プラチナ以上を顕彰

※AI:ソニー・ミュージックアソシエイテッドレコーズ/
AMI:エイベックス・マーケティング/BG:ビグラムレコーズ/
BM:パニーオンレコード/BMG:BMG JAPAN/
C:コロムビアミュージックエンタテインメント/CR:日本クラウン/DD:フライドライス/バウンディ/DF:デフスターレコーズ/DRM:ドリーミュージック/EMI:EMIミュージック・ジャパン/EP:アップフロントワークス(ゼティマレーベル)/ES:EPIレコードジャパン/FK:ファイブズエンタテインメント/FL:フォーライフミュージックエンタテインメント/GN:ジェネオン エンタテインメント/GZ:ギザ/HSE:DOMINO RECORDING CO/HOST-ESS/HY:東屋慶名建設/JA:ジェイ・ストーム/JE:ジャニーズ・エンタテインメント/JK:ユナイテッド・アジアエンタテインメント/K:キングレコード/KS:キューンレコード/MH:ソニー・ミュージックダイレクト/ON:ビー・ヴィジョン/PAR:プライエイド・レコーズ/PC:ポニーキャニオン/PK:ピッコロタウン/PZ:ビザ・オブ・デス・レコーズ/QQ:パームピーチ/RR:ロードランナー・ジャパン/SE:エスエムイーレコーズ/SI:ソニー・ミュージックジャパンインターナショナル/SM:ミュージックレイン/SN:SENHA & CO./SR:ソニー・ミュージックレコーズ/SV:アニプレックス/TE:テイチクエンタテインメント/TF:トイズファクトリー/TJC:徳間ジャパンコミュニケーションズ/TLM:タイシタレーベルミュージック/UM:ユニバーサルミュージック/V:ビクターエンタテインメント/WJ:ワーナーミュージック・ジャパン/XL:アンリミテッドグループ/YR:アール・アンド・シー

有料音楽配信(「着うた(R)」他)

「着うた(R)」

邦楽

●ミリオン

運命	倅田来未	2006.11.22	AMI
----	------	------------	-----

●トリプル・プラチナ

LIFE	中島美嘉	2007.07.07	AI
------	------	------------	----

●ダブル・プラチナ

蒼く優しく	コブクロ	2007.10.24	WJ
ここにいるよ	SoulJa	2007.06.20	UM

洋楽

●トリプル・プラチナ

恋人たちのクリスマス	マライア・キャリー	2002.11.29	SI
------------	-----------	------------	----

「着うたフル(R)」

邦楽

●ダブル・プラチナ

イケナイ太陽	ORANGE RANGE	2007.07.18	SR
CHE.R.RY	YUI	2007.03.08	SR

●プラチナ

ALONES	Aqua Timez	2007.08.01	ES
蒼く優しく	コブクロ	2007.11.07	WJ
雪の華	中島美嘉	2005.03.02	AI

●ゴールド

小さな掌	Aqua Timez	2007.10.31	ES
創聖のアクエリオン エレメント合体Ver.	アポロ(寺島拓篤)/シルヴィア(かかずゆみ)/麗花(小林沙苗)	2007.10.10	V
heavenly days	新垣結衣	2007.11.03	WJ
I Believe	EXILE	2007.11.07	AMI
ポケット	大塚 愛	2007.10.31	AMI
人	GReeeeN	2007.10.31	UM
最期の川	CHEMISTRY	2007.10.11	DF
LAST ANGEL feat. 東方神起	倅田来未	2007.11.01	AMI
~約束~	JYONGRI	2007.03.21	EMI
Climax Jump	AAA DEN-O form	2007.03.07	AMI
一輪の花	HIGH and MIGHTY COLOR	2006.01.11	SE
もう君がいない	FUNKY MONKEY BABYS	2007.10.31	DRM
僕が一番欲しかったもの	横原敬之	2004.11.24	EMI
Everything	MISIA	2006.02.01	BMG
READY STEADY GO	L'Arc~en~Ciel	2005.10.19	KS
恋しようよ	リア・ディゾン	2007.05.23	V

洋楽

●ゴールド

恋人たちのクリスマス	マライア・キャリー	2004.11.04	SI
------------	-----------	------------	----

PC配信(シングル)

邦楽

●ゴールド

瞳をとじて	平井 堅	2004.11.24	DF
ENDLESS STORY	REIRA starring YUNA ITO	2005.09.07	SR

※日付は配信開始日

協会からのお知らせ

INFORMATION SQUAREでもお知らせしましたが、当協会では、2008年1月1日から3月31日まで「違法コピー撲滅キャンペーン」を実施します。このキャンペーンは「STOP! ILLEGAL COPY」をキャッチコピーとして、違法コピーの防止を訴え、音楽創造のサイクルを守ることの大切さを訴求していくものです。併せて表紙もご参照ください。



 **携帯音楽を守りたい**
違法な音楽ファイルの利用はやめましょう

<http://www.mamo-on.jp>



THE RECORD No.578 2008年1月号
社団法人 日本レコード協会 機関誌

発行人 石坂 敬一
編集人 田辺 攻
発行日 2008年1月10日
発行 社団法人 日本レコード協会
〒107-0061 東京都港区北青山2-12-16 北青山吉川ビル11F
TEL. 03-6406-0510 (代) FAX. 03-6406-0520 (代)
URL: <http://www.riaj.or.jp/>

制作協力 株式会社エフピーアイ・コミュニケーションズ

編集後記

明けましておめでとうございます。日々が過ぎていくのは驚くほど早く、一年があっという間でした。新しい年を迎え、心機一転、さまざまな取り組みを行い、当業界からも明るいニュースが届けられるよう頑張っていきたいと思っています。本年もどうぞよろしくお祈りします。

(T)

Respect
our MUSIC